

本郷集落支援だより

25.apr.oct.

発行元 岩国市本郷支所 集落支援員

吉平晴美 tel (0827)75-2311



10月13日、休校中の波野小学校を会場に、地域の方が自主的に取り組む恒例の波野地区大運動会が開催され、支援・参加させていただきました。

当日は10月ながら太陽が照りつける、夏のような暑さとなりましたが、その暑さに負けない熱気と笑顔に包まれた日となりました。

年に一度の開催ですが、校舎もグラウンドも大変きれいに保たれており、

日頃から運動会に向けて地域の方が掃除、整備に心を配っていることが伝わってきました。

運動会には、小さな子供を連れて帰省した若い方々も多く参加され、さながら『子連れ同窓会』のような賑わいを見せました。

数年ぶりに参加された波野原地区の高齢者の方に、競技に参加するよう声掛けをしたところ、はじめ戸惑っていらっしゃいましたが、ゴルフ競技に参加し、結果ホールインワンを出して、嬉しそうにいらっしゃった姿を見て、喜びを分けていただきました。

定年延長などで多忙な現役世代が中心となって、細かな段取りと準備を懸命に協力されており、この集落ならではの家族的な絆を改めて感じ、その絆がより一層深まったようでした。

昨年に引き続き支援させていただいた、餅まき用の紅白餅づくり。

つきたての熱々の餅を、

切っては丸め、

2斗のもち米が、

和気あいあいとした雰囲気のなか

着々ともろぶたに

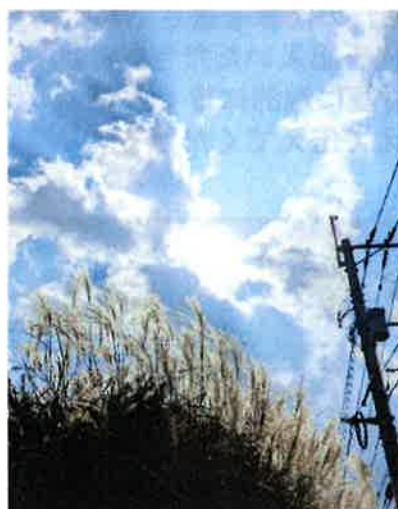
並べられていきました。

普段あまりコミュニケーション

をとれない人同士が、

暮らしのあれこれを話す

良い交流の機会となりました。



波野さわやかサロンは本年度、岩国市社会福祉大会で長年のサロン開催の功績が認められ

「岩国市社会福祉協議会長表彰」を受けられました。

皆さんがこれまで楽しく、コツコツと

活動されてきた積み重ねの証だと感じます。

これからも、居心地よく緩やかに集える場であるよう繋いでいきたいと思います。

9月、10月のサロンでは、季節の収穫物を使ったかんたんレシピをお配りしました。

レシピを参考に作って頂いた方の感想をうかがうのが楽しみです。



10月26日 本郷ふるさとフェスタが開催され、うどんを販売する婦人会のブースのお手伝いをさせていただきました。このブースは波野地区の女性メンバーの方が多く、お声がけいただいたことがきっかけになりました。

本郷中学校の生徒さん4人も加わり、お昼時間にうどんを求める長い列ができ、焦ってしまいそうそうな雰囲気の中でも、丁寧に心をこめ温かいうどんを提供できました。

また、ふるさとフェスタ会場の横にある本郷ふるさと交流館では、地域の皆さんが「学びの成果」を発表・共有する生涯学習作品展が開催されました。

様々な世代の作品が一堂に会し、稲穂の黄金色、秋色に染まった会場は、さながら昔の村の収穫祭を思わせる活気にあふれていきました。

集落支援員として、夫婦淵の川の写真と、3月に行われた集落支援員パネル展示の際に描いたイラスト、そして波野地区の「みんなでつくる集落map」（仮名）の情報を書き込んでもらうための地図を展示しました。その結果、幾つかの新しい情報を記入いただき、中にはLINEで直接伝えてくださる方もいらっしゃいました。当初は付箋に端的に書く方が気楽かと思ったのですが、「付箋では書ききれない」と、写真を添えて伝えてくださるなど、嬉しい想定外のやり取りも生まれました。

